

令和4年度 一般採用試験
数学・社会（世界史）試験問題
(人文・社会科学専攻)

(注意)

1. 解答用紙の注意事項を確認のうえ、例にならって氏名及び受験番号を解答用紙に必ず記入及びマークすること。

例 【氏名】 防大 祐 【受験番号】 神奈川人W1234 の場合

※氏名及び受験番号の記入について

	氏	名
フリガナ	ボウダイ	ナギサ
漢字	防大	祐

	志願地本名	専攻区分	番号
受験番号	神奈川	人	W1234

※受験番号等のマークについて（女子受験者は、番号のWはマークしない。）

志願地本名	札幌：01	福島：10
	函館：02	茨城：11
	旭川：03	栃木：12
	帯広：04	群馬：13
	青森：05	埼玉：14
	岩手：06	千葉：15
	宮城：07	東京：16
	秋田：08	神奈川：17
	山形：09	新潟：18

専攻区分
人社
性別
男 1
女

番号			
0	0	0	0
1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9

2. 試験時間中は、すべて試験係官の指示に従うこと。

3. 解答方法は、択一式であり、設問ごとの指示に従い、解答用紙の解答欄にマークすること。

例えば、①の設問01と表示のある問題に対して（C）と解答する場合は、次の例のように

①の設問01解答欄の（C）にマークすること。

解答欄				
① 設問01	A	B	C	D

1

以下の問題文を読み、それぞれの設問の指示にしたがって解答しなさい。

ジブラルタル海峡を挟んでアフリカ大陸に臨むイベリア半島では古来、様々な王朝や民族、文化が交錯した。

紀元前3世紀頃にはローマがイベリア半島を制圧した。5世紀には〔ア〕ゲルマン人の一派である西ゴート人がローマ領内に移住し、その後半島の大半を支配する西ゴート王国を建てた。8世紀に入るとウマイヤ朝がこの地に進出し、西ゴート王国を滅亡させた。さらに北上を目指したウマイヤ朝軍はメロヴィング朝の〔イ〕であるカール＝マルテルに敗れ、ピレネー山脈まで退くものの、とりわけ半島の南部は15世紀に至るまでイスラーム教勢力の支配下に置かれた。

〔ウ〕アッバース朝に敗れてイベリア半島に逃れたウマイヤ朝の一族は、756年に〔エ〕後ウマイヤ朝を建て、勢力の存続を図った。同王朝の成立は、〔オ〕イスラーム世界の政治的な分裂を意味する。アブド＝アッラフマーン3世の治世下で最盛期を迎えた後ウマイヤ朝は、11世紀に入ると内戦状態が続き、崩壊した。これ以降も複数のイスラーム王朝がイベリア半島南部を治めたが、13世紀初頭にもなると、同半島におけるイスラーム教勢力の支配力は衰えを見せていくこととなる。

他方、イベリア半島の北部に住むキリスト教徒は、レコンキスタと呼ばれる〔カ〕国土回復運動を進めた。11世紀頃からカスティリヤ王国や〔キ〕アラゴン王国が攻勢を開始すると、13世紀にはキリスト教勢力がイベリア半島のほとんどを手中に収めた。カスティリヤとアラゴンは王女と王子の婚姻の後に統合され、1479年にスペイン（イスパニア）王国が成立した。同王国は1492年にイベリア半島最後のイスラーム王朝である〔ク〕朝を倒し、レコンキスタを完遂した。この後、スペインは〔ケ〕フェリペ2世のもとで全盛期を迎えたが、〔コ〕彼の治世の後半以降、その国力は徐々に衰えていった。

設問01 下線部〔ア〕のフランク人を統一したクローヴィスが改宗したキリスト教の宗派を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ネストリウス派
- B 単性論派
- C アタナシウス派
- D アリウス派

設問02 〔イ〕に入る語を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 皇帝
- B 国王
- C 宮宰
- D 知事

設問03 下線部〔ウ〕のカリフが行った政策の説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A マワーリーを宰相や官僚などの要職に登用した。
- B ムスリムには出自にかかわらずジズヤを課さなかった。
- C 征服地に土地を持つ者すべてにハラージュが課された。
- D 軍人や官僚にイクターの徵税権を与えた。

設問04 下線部〔エ〕の首都を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A コルドバ
- B グラナダ
- C トレド
- D セビリヤ

設問05 下線部〔オ〕について、8世紀から10世紀にかけてのイスラーム諸王朝に関する説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A アッバース朝はハールーン＝アッラシードのもと最盛期を迎えたが、彼の死以後はマムルークの台頭などにより、カリフの権勢に衰退の兆しが現れた。
- B バグダードに入城したセルジューク朝の君主は、大アミールに任せられ、イスラーム法（シャリーア）を施行する権限を委ねられた。
- C ブハラを中心に興ったサーマーン朝では、ペルシア語による文芸活動が盛んに行われ、イラン・イスラーム文化の発展が促された。
- D トゥールーン朝が自立した政権を樹立して以降、エジプトとその周辺地域はアッバース朝の支配から離れていった。

設問06 下線部〔カ〕に関連して、11世紀から12世紀にかけて西ヨーロッパでは聖地巡礼への熱が高まった。イベリア半島西北部に位置するサンチャゴ＝デ＝コンポステラは誰に由来する聖地か。以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ペテロ
- B ヤコブ
- C パウロ
- D ヨハネ

設問07 下線部〔キ〕が一時領有した国を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ヴェネツィア共和国
- B ミラノ公国
- C シチリア王国
- D フィレンツェ共和国

設問08 クに入る語を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ムラービト
- B ナスル
- C ムワッヒド
- D イドリース

設問09 下線部 [ケ] は、対抗宗教改革（反宗教改革）を積極的に推進した。16世紀半ば頃から始まった対抗宗教改革に関する説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 信仰に関わる問題を審問する宗教裁判が強化されたほか、カトリックの教義に反する内容と判断された書物と著者を記した禁書目録がはじめて制定された。
- B カトリック・プロテstantト両派の対立の調停が目指されたトリエント公会議では、結果的にカトリック内部の刷新や改革のみが促された。
- C エリザベス1世が教義や儀礼の統一を図る統一法を制定し、教会体制の確立を図った。
- D 南ヨーロッパへのプロテstantト勢力の進出が阻まれた。

設問10 下線部 [コ] について、スペインの国力衰退を象徴する出来事のひとつとしてオランダの独立が挙げられる。独立前後のオランダの動向に関する説明として適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 独立戦争で荒廃したアムステルダムに変わり、アントウェルペン（アントワープ）が商業・金融の中心として台頭した。
- B 世界初の株式会社である東印度会社が、マドラスを拠点に設立された。
- C 市民の肖像画や市民生活を細やかに描いたレンブラントやフェルメールなどが、繊細で明るい色彩が特徴的なロココ美術を発展させた。
- D 優れた造船技術を背景に、バルト海での中継貿易や漁業で栄えた。

2

以下の問題文を読み、それぞれの設問の指示にしたがって解答しなさい。

[ア] ピピン（小ピピン） の子である [イ] カール大帝（シャルルマーニュ） は、西ヨーロッパの広大な領域を征服して、フランク王国を強国へと発展させた。教皇レオ3世からローマ皇帝の冠を授与されたカールは、[ウ] 西ローマ帝国を受け継ぐ支配者となった。これにより古代ローマ、ゲルマン、キリスト教が融合された西ヨーロッパ中世世界の基礎が築かれた。しかしカールの死後、王国は東フランク、西フランク、イタリアの3王国に分裂した。

962年に東フランク王国の [エ] は [オ] 教皇からローマ皇帝の冠を授けられた。これが [カ] 神聖ローマ帝国の起源といわれている。

10世紀頃から教会の改革運動が展開していく中、神聖ローマ皇帝とローマ教皇は [キ] 聖職叙任権をめぐって衝突したが、[ク] により政教分離の妥協が成立し、皇帝が聖職者の任命権を失った。

歴代皇帝は [ケ] イタリア政策に关心を抱き自国の統治を怠ったため、帝国内では [コ] 諸侯や自由都市の力が強まつた。皇帝不在の大空位時代を経て、1356年に皇帝カール4世は金印勅書を発布し、神聖ローマ皇帝を選ぶ資格を [サ] 聖俗の七選帝侯に認めた。しかし15世紀以降、[シ] ハプスブルク家が皇帝位を独占するようになった。

16世紀に、皇帝マクシミリアン1世はブルゴーニュの公女と結婚してネーデルラントを獲得し、彼の子孫も巧みな婚姻政策と海外進出によって領土を拡張した。マクシミリアンの孫は若くしてスペイン王 [ス] として即位したのち、[セ] フランソワ1世をおさえて、神聖ローマ皇帝カール5世となった。

17世紀の [ソ] 三十年戦争の後、ウェストファリア条約により帝国内の諸邦がほぼ完全に [タ] 主権を獲得したため、神聖ローマ帝国は有名無実化した。かわって、北ドイツで [チ] プロイセンが台頭した。その後、[ツ] ナポレオンが、西南ドイツ諸邦を保護下に置いて [テ] ライン同盟を結成させたのを機に、1806年に名実ともに [ト] 神聖ローマ帝国は解体した。

設問11 下線部 [ア] に関する説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 聖像禁止令を発布した。
- B ラヴェンナ地方を教皇に献じた。
- C メロヴィング朝を廢して王位についた。
- D ランゴバルド王国を攻めた。

設問12 下線部〔イ〕から招かれて宫廷学校の校長となったイングランド出身の人物を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A アクイナス
- B アベラール
- C アルケイン
- D アンセルムス

設問13 下線部〔ウ〕の皇帝を476年に廃位した人物を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A アントニウス
- B オドアケル
- C ピラト
- D ハンニバル

設問14 [エ]に入る語を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A オットー1世
- B シャルル2世
- C ルートヴィヒ1世
- D ロタール1世

設問15 下線部〔オ〕の理由として適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 教皇の救援要請に応じて北イタリアを制圧した。
- B イスラーム教勢力をトゥール・ポワティエ間の戦いで破った。
- C 聖ソフィア大聖堂を建立してキリスト教会の威信を高めた。
- D 異教信仰を禁じてキリスト教を国教とした。

設問16 下線部〔カ〕の皇帝フリードリヒ1世が関わった十字軍の説明として適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A アイユーブ朝スルタンとの交渉により、一時的にイエルサレムの回復に成功した。
- B コンスタンティノープルを占領し、ラテン帝国を建てた。
- C 十字軍の拠点アッコンが陥落し、その後大規模な軍事行動は生じなかった。
- D フランス王フィリップ2世、イングランド王リチャード1世とともに第3回十字軍に参加した。

設問17 下線部 [キ] の説明として適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 教皇グレゴリウス7世がハインリヒ4世を破門した。
- B 教皇インノケンティウス3世がカノッサの屈辱（カノッサ事件）の仲介役となつた。
- C 教皇庁が南フランスのアヴィニヨンに移転した。
- D 教皇ボニファティウス8世が一時捕らえられた。

設問18 クに入る語を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A アミアンの和約
- B ヴェルダン条約
- C ヴォルムス協約
- D メルセン条約

設問19 下線部 [ケ] について、神聖ローマ皇帝による介入に対して、北イタリアの都市が12世紀に結んだ同盟を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A カルマル同盟
- B ハンザ同盟
- C シュマルカルデン同盟
- D ロンバルディア同盟

設問20 下線部 [コ] について、都市の自治運営の基盤となったギルドの説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 同職ギルド（ツンフト）は、大商人に対抗して市政参加権を獲得した。
- B 商人ギルドは、相互扶助や商業利益を目的として結成された。
- C 同職ギルド（ツンフト）は、自由競争を禁止し、商品の品質、規格、価格などを規制した。
- D 手工業者はだれでも同職ギルド（ツンフト）の組合に加入できた。

設問21 下線部 [サ] について、金印勅書で定められた七選帝侯に含まれない諸侯を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ベーメン王
- B ザクセン公
- C マインツ大司教
- D バイエルン公

設問22 下線部 [シ] に関する説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ハプスブルク家初の神聖ローマ皇帝はルドルフ1世である。
- B 1494年のイタリア戦争でヴァロワ家と対立した。
- C オーストリア継承戦争が始まると、直ちにフランスと同盟を結んだ。
- D 1772年のポーランド分割にロシア、プロイセンとともに参加した。

設問23 [ス]に入る語を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A カルロス1世
- B カルロス2世
- C カルロス3世
- D カルロス4世

設問24 下線部 [セ] が行ったことを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A アカデミー＝フランセーズを創設した。
- B ヴォルテールをサンスーシ宮殿に招いた。
- C ヴェルサイユ宮殿を造営した。
- D レオナルド＝ダ＝ヴィンチを宫廷に招いた。

設問25 下線部 [ソ] の説明として適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ベーメン（ボヘミア）のカトリックがハプスブルク家の宗教政策に反抗したのをきっかけとして、戦争が起こった。
- B スウェーデン王グスタフ＝アドルフが、プロテスタント支援を名目として参戦した。
- C ヴァレンシュタインが、フランスと同盟を結んで戦った。
- D バルト海の覇権を得るため、デンマークが神聖ローマ帝国側についた。

設問26 下線部 [タ] の概念を初めて定式化した思想家を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ボーダン
- B ボシュエ
- C ホップズ
- D ルソー

設問27 下線部 [チ] に関する説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 13世紀のドイツ騎士団領に由来する。
- B ホーエンツォレルン家出身の騎士団長がルター派に改宗した後、プロイセン公国となった。
- C 跡継ぎが絶えたため、ブランデンブルク選帝侯国と合邦した。
- D スペイン継承戦争において軍事支援を行った結果、ローマ教皇から1701年に王号を許可された。

設問28 下線部 [ツ] を称えて「英雄」という交響曲を書いた作曲家を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A バッハ
- B ヘンデル
- C ベートーヴェン
- D モーツアルト

設問29 下線部 [テ] が崩壊するきっかけとなった1813年の戦いを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A オーステルリツの戦い
- B トラファルガーの海戦
- C ライプツィヒの戦い
- D ワーテルローの戦い

設問30 下線部 [ト] について、最後の神聖ローマ皇帝を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A フランツ1世
- B フランツ2世
- C フリードリヒ=ヴィルヘルム1世
- D ヨーゼフ2世

3 以下の問題文を読み、それぞれの設問の指示にしたがって解答しなさい。

[ア] 仏教は、商工業の発展にともない都市国家が成立したガンジス川流域において生まれ、祭式とヴェーダの権威を重んじる従来のあり方に不満を抱く人々の支持を獲得した。その後も北インドの古代国家の支配者たちに信奉され、手厚い保護を受けながら発展した。マウリヤ朝期以降、東西交易路の発達を背景に、[イ] 海路・陸路を通じて北インド以外にも仏教が伝えられた。インド亜大陸では、仏教は衰退に向かうが、他の地域に多様な仏教文化が形成された。とりわけ、
[ウ] 中国で仏教が普及すると、多くの仏典が、独自の解釈も含みながら漢訳された。当時の中国には、仏教以外にも、[エ] 様々な宗教が流入しており、[オ] 土着の信仰も含め、相互に影響を与えた。さらに、[カ] 中国で漢訳・解釈された仏典と仏教思想は周辺地域にも広まって、多様な仏教文化が形成された。

7世紀のアラビア半島で生まれたイスラーム教は、数世紀かけてユーラシアの大半に広がっていった。とりわけ、温暖化などを背景に国際交易が活発化した10世紀以降、先進的な商業慣習・金融技術を背景に商人層に多くの信者を得て、[キ] 海陸の交易路沿いに急速に広まっていった。周辺地域への伝播にともない、[ク] 中央アジアの騎馬遊牧民の勢力が西アジアに流入するなど、イスラーム世界における人々の移動が促進された。

13世紀にユーラシアの主要部分を統合したモンゴル帝国（大モンゴル国）の下では、[ケ] 各宗教の聖職者の往来が一層活発化し、多様な宗教ネットワークがユーラシア各地に展開された。他方で、モンゴル帝国の支配者層は、チベット仏教に帰依し、モンゴル語を表記するためにチベット僧 [コ] が作った文字を導入するなど、[サ] チベットの文化的影響を強く受けた。

モンゴル帝国の時代以降も、ユーラシアにはいくつもの巨大な帝国が成立し、長期に及ぶ安定した支配を実現したが、その理由の一つには、大陸の隅々に広がった各宗教に対して、寛容な姿勢を見せ、その共存を認めたことがあった。帝国の君主たちは、特定の宗教的権威を利用する一方、宗教と結びついた商業網や、それがもたらす技術を利用する目的もあって、[シ] 領内の信仰の自由を幅広く認める場合が多かった。そうした中、宗教間の交流により、[ス] 新たな宗教・宗派が生まれることもあった。中国においては、明朝の時代に多くのイエズス会系宣教師が訪れ、[セ] 布教の手段として西洋の科学技術を伝えた。明朝にかわって中国を支配した清朝は、その領域内に多様な民族・文化が存在していることもあり、宗教に寛容な態度をとったが、国内の秩序維持のため、[ソ] キリスト教の布教に関しては禁止した。19世紀に西欧諸国の圧力により布教が再開されると、地域社会の反発を招き、各地で反キリスト教運動が起こった。この動きは、19世紀末から華北各地で教会を襲撃し、宣教師や信者を殺害するなどした [タ] のように、排外的色合いを強めていった。

比較的均質な国民像を共有しやすい西欧では、国民を基盤に近代国家が形成されたが、多様な民族・宗教が共存するユーラシアの多くの帝国にとって、西欧をモデルとする[チ] 近代化には多くの困難がともなった。また、列強の植民地支配を受けた地域においては、[ツ] 宗教が人々の不満をまとめる求心力の一つとなる一方で、宗主国による分割統治政策の影響もあり、宗教の違いを乗り越え、地域全体でまとまることが難しくなった。こうして[テ] 顕在化した宗教の違いは、独立後も内戦の火種となることがあった。

設問31 下線部 [ア] や同時期に生まれたジャイナ教の創始者はいずれも同じヴァルナに属する。

彼らが属したヴァルナを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ヴァイシャ
- B クシャトリヤ
- C シュードラ
- D バラモン

設問32 下線部 [イ] に関する説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A マウリヤ朝期に仏教が伝えられたスリランカは、後に上座部仏教の中心となった。
- B 海上交易で栄えたサータヴァーハナ朝の下で、南インドの仏教の活動が盛んになった。
- C シュリーヴィジャヤに滞在した義淨は、同地における仏教の隆盛を記録した。
- D シャイレンドラ朝の下で、上座部仏教の思想を表現したボロブドゥールが建設された。

設問33 下線部 [ウ] について、中央アジアから五胡十六国時代の中国を訪れ、華北における仏教の普及に大きな役割を果たした僧侶の名前を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 法顯
- B 仏団澄
- C 玄奘
- D 圓仁

設問34 下線部 [エ] について、唐代の長安に寺院が作られ、信仰を集めた宗教として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A キリスト教
- B ヒンドゥー教
- C ゾロアスター教
- D マニ教

設問35 下線部 [オ] について、仏教の影響を受け道教を大成させた寇謙之を重用し、道教を一時国教にした王朝名を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 齊
- B 北周
- C 北魏
- D 陳

設問36 下線部 [カ] について、中国仏教の影響を受けつつ、独自の仏教文化を形成した国・地域として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 西夏
- B ベトナム
- C 高麗
- D タイ

設問37 下線部 [キ] について、ムスリム商人がインド洋の交易で用いていた船の名称を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ジャンク船
- B ダウ船
- C ガレオン船
- D ガレー船

設問38 下線部 [キ] について、イスラーム教の情報交流の拠点となった学問施設の名称を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A キヤラヴァンサライ
- B マドラサ
- C スーク
- D ミナレット

設問39 下線部 [ク] について、中央アジアに成立した最初のトルコ系イスラーム王朝を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A カラハン朝
- B ホラズム＝シャー朝
- C セルジューク朝
- D ブワиф朝

設問40 下線部〔ケ〕について、教皇の特使として大都を訪れ、中国最初のカトリック布教者となった人物を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ルブルック
- B プラノ＝カルピニ
- C モンテ＝コルヴィノ
- D カスティリオーネ

設問41 コに入る人名を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A サキャ
- B パスピ
- C ツォンカバ
- D ダライ＝ラマ

設問42 下線部〔サ〕について、チベットの歴史に関する説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A インド・中国双方から影響を受けた吐蕃の下で、独自の仏教文化が生まれた。
- B 清朝は、ジュンガルのチベット進出を阻むため、軍を送りチベットを保護下にいた。
- C 辛亥革命を機に、ダライ＝ラマ13世がチベットの独立を宣言した。
- D 長征の過程にあった共産党の軍隊が、チベットを占拠した。

設問43 下線部〔シ〕について、他の宗教・宗派に寛容な政策を採った君主の例として不適切な人物を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A フリードリヒ2世（プロイセン）
- B アクバル
- C セリム2世
- D ルイ14世

設問44 下線部〔ス〕について、ムガル帝国治下のインドで生まれたある宗教は、後に独立王国を形成した。この宗教を創始した人物を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A カビール
- B ナーナク
- C ヴァルダマーナ
- D シヴァージー

設問45 下線部〔セ〕について、西洋の科学技術に刺激を受け、中国でも科学技術に関する多くの書物が刊行された。これらの書物に含まれないものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 齋民要術
- B 本草綱目
- C 天工開物
- D 農政全書

設問46 下線部〔ソ〕について、清朝におけるキリスト教の布教に関する説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 祖先祭祀をめぐる典礼問題がきっかけとなり、清朝は布教を禁止するにいたった。
- B フランスは、布教活動を行った宣教師の殺害事件を口実に、清朝へ宣戦布告した。
- C 清朝が結んだ南京条約により、中国国内での布教が再び認められるようになった。
- D 宣教師たちがヨーロッパに伝えた清朝期の中国文化が、シノワズリを生み出した。

設問47 タに入る語を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 東学党
- B 白蓮教徒
- C 抨上帝会
- D 義和団

設問48 下線部〔チ〕について、オスマン帝国の近代化に関する説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A アブデュルハミト2世は、パン＝トルコ主義を唱え帝国の劣勢挽回を図った。
- B アブデュルメジト1世の下した勅令では、信仰を問わず帝国臣民は平等とされた。
- C 帝国の専制を批判する勢力により青年トルコ革命が起こり、ミドハト憲法が復活した。
- D 19世紀半ばのタンジマートにより、法治主義に基づく近代国家が目指された。

設問49 下線部〔ツ〕について、イスラーム教を中心とする独立運動に関する説明として適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ワッハーブ派のフセイン（フサイン）がアラビア半島にヒジャーズ王国を建設した。
- B イスラーム同盟（サレカット＝イスラーム）の指導者スカルノがインドネシアの独立運動を主導した。
- C イスラーム教の価値観を基礎にカリフの復活を目指すワフド党が結成された。
- D ジンナー率いる全インド＝ムスリム連盟はムスリム国家の分離・独立を目指した。

設問50 下線部〔テ〕について、第二次世界大戦後に起こった、宗教の違いを主たる要因とする内戦を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A カンボジア内戦
- B ソマリア内戦
- C ルワンダ内戦
- D スリランカ内戦

4

以下の問題文を読み、それぞれの設問の指示にしたがって解答しなさい。

第二次世界大戦後の金融・経済における国際協調をはかるため、連合国代表は1944年7月にブレトン＝ウッズに集まり、[ア]国際的な経済体制の構想を練った。この体制下でドルが基軸通貨となったが、これはアメリカが経済的な霸権を握ったことの反映であった。

1947年、ソ連の台頭や共産主義勢力の拡大への警戒感を強めたアメリカは[イ]ソ連の拡大を封じ込めるための政策を発表した。アメリカ中心の経済復興政策に反発したソ連や東欧諸国は1949年にウを結成したため、[エ]これ以降、西側諸国と東側諸国との対立がより一層深まった。

第二次世界大戦の終結以降、ドルが世界経済を支えてきた。しかし、長引くベトナム戦争の影響に加えて、アメリカの貿易収支が赤字に転落すると、ブレトン＝ウッズ国際経済体制は転換点を迎えた。国際経済は多極化した。さらに、1973年に勃発した第4次中東戦争をきっかけに起こった[オ]第1次石油危機は、先進諸国の経済に大きな影響をもたらした。

「強いアメリカ」を掲げたレーガンは[カ]新自由主義的な改革を提唱するとともに、ソ連に対抗するべく軍備を拡張した。彼が推進した軍備拡張は、結果的に財政赤字と貿易赤字という「双子の赤字」を深刻化させることとなり、[キ]アメリカは1985年に世界最大の債務国となった。

一方、行き詰った社会主義体制を立て直すため、ソ連のゴルバチョフは[ク]ペレストロイカと呼ばれる改革を実施した。軍備縮小による財政赤字の解消を期待したレーガンは、ソ連との対話路線へと転換した。これ以降も米ソの対話は進み、ブッシュとゴルバチョフは、1989年に行われた首脳会談にて冷戦の終結を宣言した。

米ソの緊張緩和と冷戦の終結は、[ケ]東欧の社会主义圏の社会や政治経済の変革を招いた。他方、急速な民主化と政治活動の自由化は連邦内の民族独立運動を促し、1991年のソ連崩壊以降、[コ]ソ連を構成していた共和国の多くが独立を目指した。

設問51 下線部 [ア]について、ブレトン＝ウッズ国際経済体制の説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 國際通貨体制の確立と為替の安定を目的としたIMFが設立された。
- B 戦後の経済復興を支援するほか、途上国への融資を目的としたIBRDが創設された。
- C 自由で多角的な貿易を維持・推進するため、関税の引き下げや輸出入規制の撤廃に合意する協定が結ばれた。
- D 外国為替市場の需要と供給のバランスに応じて外貨の交換比率を決定する通貨制度が定められた。

設問52 下線部 [イ]について、アメリカがトルーマン＝ドクトリンに基づいて援助を行った国の組み合わせを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ギリシアとトルコ
- B ベルギーとルクセンブルク
- C チェコスロvakiaとユーゴスラヴィア
- D フランスとイタリア

設問53 ウに入る語を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A コミニテルン
- B コメコン
- C ワルシャワ条約機構
- D コミンフォルム

設問54 下線部 [エ]について、1950年代の国際関係および安全保障に関する説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 原水爆禁止世界大会やパグウォッシュ会議が開かれるなど、反核運動の気運が高まった。
- B トルコとイラクの間で結ばれたバグダード条約をもとに、イギリスやイラン、パキスタンが加わった中東条約機構が結成された。
- C 中ソ友好同盟相互援助条約の締結は、中国の社会主义圏への帰属および朝鮮戦争への介入を促した。
- D フルシチョフはアメリカなど西側諸国との対立路線を明確にし、東欧諸国との連帯強化を図った。

設問55 下線部 [オ]に関連して、第2次石油危機が起こる要因となった出来事を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ソ連によるアフガニスタンへの軍事侵攻
- B イラン革命とイラン＝イスラーム共和国の成立
- C エジプトによるイスラエルの公式承認
- D イラクによるクウェート侵攻と湾岸戦争

設問56 下線部〔カ〕について、就任当初は大企業や銀行の国有化などの社会主義的政策を採用したものの、後に新自由主義的な政策へと転換した政治指導者を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A サッチャー
- B ミッテラン
- C コール
- D 中曾根康弘

設問57 下線部〔キ〕について、1985年に成立したプラザ合意とその影響に関する説明として適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 為替相場の調整を行い、円安ドル高へと誘導された。
- B 1987年のアメリカ・ニューヨーク株式市場での株価暴騰を誘引した。
- C プラザ合意はニューヨークで開催された先進国首脳会議（G7サミット）で決定された。
- D 日本では低金利政策により地価と株価が高騰し、バブル経済が始まった。

設問58 下線部〔ク〕に含まれない政策を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 市場経済への移行や個人営業の自由化
- B ソ連共産党の解散
- C スターリン体制下で犠牲になった人々の名誉回復
- D 言論の自由化と情報公開

設問59 下線部〔ケ〕について、1989年以降に生じた東欧諸国における政治・社会変動の説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 自主管理労働組合「連帶」の合法化
- B ホネカー（ホーネッカー）書記長の退陣
- C チャウシェスク大統領による独裁政治の崩壊
- D 「人間の顔をした社会主义」を掲げた民主化

設問60 下線部〔コ〕について、イスラーム教徒が独立運動の中心を担った国を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A リトアニア
- B アルメニア
- C チェチェン
- D ウクライナ